

第3学年 道徳学習指導案

1 主題名 礼儀・適切な言動 2－(1)

2 資料名 いじめるつもりはなかったけど…

(出典 いじめをノックアウト NHK for school)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

礼儀や適切な言動は、他者との関わりにおいて必要とされるもので、相手の人格を尊重して、相手に対して敬愛の気持ちを具体的に示すものである。中学生の時期は、学校や部活動など様々な社会集団の中で、互いに深く関わり合って相互理解を深め、同世代を中心に積極的にコミュニケーションをとろうとする時期である。近年の通信機器の発展は著しく、生徒たちは実際に会っていなくても容易にコミュニケーションをとることができるようになった。その一方で、軽はずみな発言による誤解やトラブルが増えているように感じられる。どのような場面においても礼儀や適切な言動が大切であることに気づき、相手のことを思いやった言動をとろうとする態度を育てたい。

(2) 生徒について <省略>

(3) 資料について

本授業はNHKが製作した映像資料を利用する。資料はシリーズになっており、「いじめとは何か」「いじめが起きたときにどのようにすればよいか」という問いについて、学校生活やインターネット上など学校生活外で実際に起こっている問題を取り扱っている。映像で具体例を見ることで、短い時間で登場人物の立場や考えなどを容易に理解することができる。

今回の映像は、佐野日本大学中等教育学校の生徒会がシミュレーションを行った、LINEで時間割変更のやりとりをしているときに発生したトラブルについて取り扱っている。発言の発信者と受信者の些細な擦れ違いからLINE上で悪口を言い合う状態になってしまう。なぜそのような発言をしたのか、どういう意図でそのような発言をしたのかを掘り下げて考えて、LINEでの気持ちの擦れ違いからトラブルを起こさないためにはどのようなことに気を付ければよいかを考えるための資料である。

(4) 指導について

あるSNS運営企業の調査によると、「3年生になると、2年生までに比べて学校生活外の場面でSNSなどインターネットを用いてコミュニケーションをとる機会が多くなる」という結果が出ている。生徒たちは雑談、連絡事項など様々な場面でSNSを利用しており、トラブルがいつ起こってもおかしくない状態である。生徒たちには、情報化されたこれからの社会を生き抜くために必要な考え方や態度を身につけていくことがより一層求められる。

今回の資料を用い、SNSのトラブルの中でどういう意図でそのような発言をしたのかを考えることで気持ちの擦れ違いや考え方の違いを確認し、発信者と受信者、相互の気持ちを確認させたい。友人とコミュニケーションをとる際にどのようなことに留意する必要があるのかを考え、級友の意見を聞くことによって、道徳的な判断力を身につけさせたい。

4 教科・領域等との関連について

教科	道徳の時間	総合的な学習・特別活動等
<p>社会「情報化」</p> <p>情報社会の進展や歴史、功罪を理解する。情報社会の一員として、情報機器との正しい接し方を考える。</p>	<p>「言葉惜しみ」 2－(1)</p> <p>相手を思う気持ちを大切にし、時と場に応じた適切な言動をとろうとする態度を育てる。</p>	<p>情報モラル教室</p> <p>インターネット環境の現状、発生し得る問題、中学生として、何に気を付けてインターネットを利用していくとよいかを知る。</p>
<p>技術・家庭「情報モラルを身に付けて情報を安全に利用しよう。」</p> <p>情報モラルについて理解する。情報や情報機器の正しい利用方法を考える。</p>	<p>「いじめるつもりはなかったけど…」 2－(1)</p> <p>相手の顔が見えない場面においても、常に他者のことを考えた適切な言動をとろうとする態度を育てる。</p>	

5 本時について

(1) 本時のねらい

ネット上でのトラブルについて考えることを通して、コミュニケーションをとる際の適切な言動について考えることができる。

(2) 準備物

資料1・2・3、ワークシート、動画「いじめるつもりはなかったけど…」、私たちの道徳、模造紙、付箋、マジック、掲示用資料、PC

(3) 展開

	学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）	教師の支援（◇）と評価（◎）
導入	○事前にとったアンケートの結果を知り、LINE利用時の問題点を共有する。	◇結果を見せ、生徒の悩みやトラブルをつかませる。
展開	○資料1について、問題があると考えられる発言の番号と何が問題かを付箋に書き込む。	◇人物同士のつながりを分かりやすくするために、関連図を掲示する。 ◇意見が出てこない生徒には、「この発言はOKかな」など、ヒントを与える。

○資料2について、クラスLINEに自分だったら書き込むか書き込まないか、理由や書き込む内容を考え、発表する。

【書き込む】

- ・（理由）ソラの発言が許せないから。
（内容）ソラは何様なの??
- ・（理由）リホに共感できたから。
（内容）お礼言えよなー。

【書き込まない】

- ・（理由）悪口を書き込むのは良くないから。
- ・（理由）ソラが見ているかもしれないから。

○資料3について、問題があると考えられる発言の番号と何が問題かを付箋に書き込む。

誰のどのような行動や発言に問題があったのだろうか。

（ソラ）

- ・リホの「絵の具だよ」という返信にお礼がなかった。
- ・ハジメに「お前使えねえな」と言った。

（感情的）

- ・期待した返事をもらえなかったときに「使えねえな」と怒った。
- ・「聞いていてなんだ」と怒りをそのままLINEに載せた。

○グループでまとめた模造紙を他のグループに回し、自分たち以外のグループで出てきた意見を知る。

○クラスLINEで一連の流れについて、映像を見て登場人物の思いを知る。

インターネットを含め、人とコミュニケーションをとる際、どのようなことを相手に配慮したらよいか。

- ・相手の顔が見えないから起こるトラブルだと思った。できるだけ相手の顔を見て相手のことを考えてコミュニケーションをとりたい。

◇自分がこのクラスの一員で、クラスLINEのメンバーだったと仮定して考えさせる。

◇意見が出てこない生徒には「この発言はOKかな」など、ヒントを与える。

◇4人グループをつかって、意見を出しやすくする。

◇話し合いが進んでいない場合は声かけを行い、意見を交流させるきっかけをつくる。

◇KJ法を活用させる。まとめ方に困っている場合は声かけを行いまとめるきっかけをつくる。また、グルーピングの際のテーマは、統一性がなくてもよいことをアドバイスする。

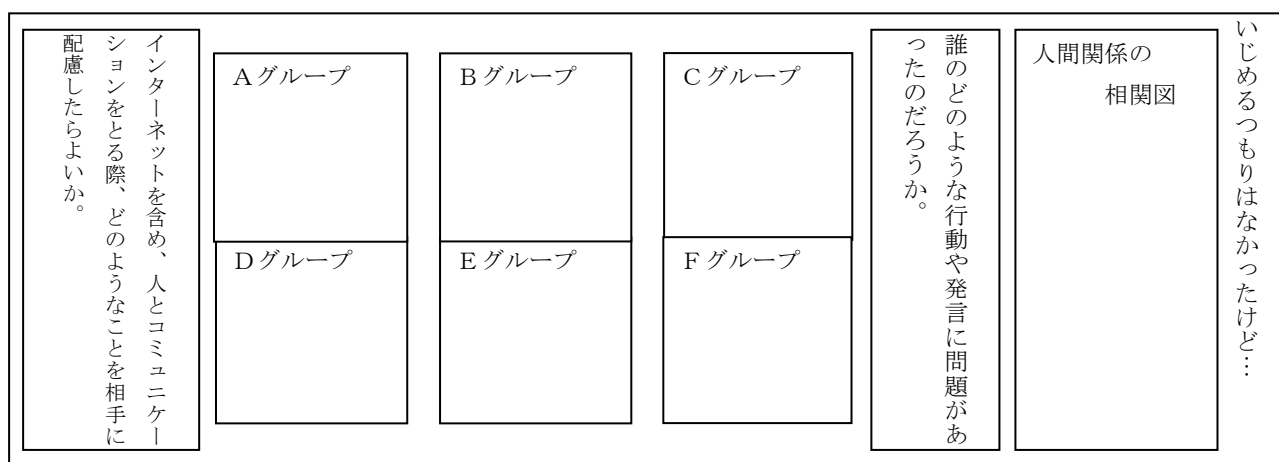
◇模造紙を見る時間を1グループにつき1分とする。印象に残った意見にシールを貼らせる。

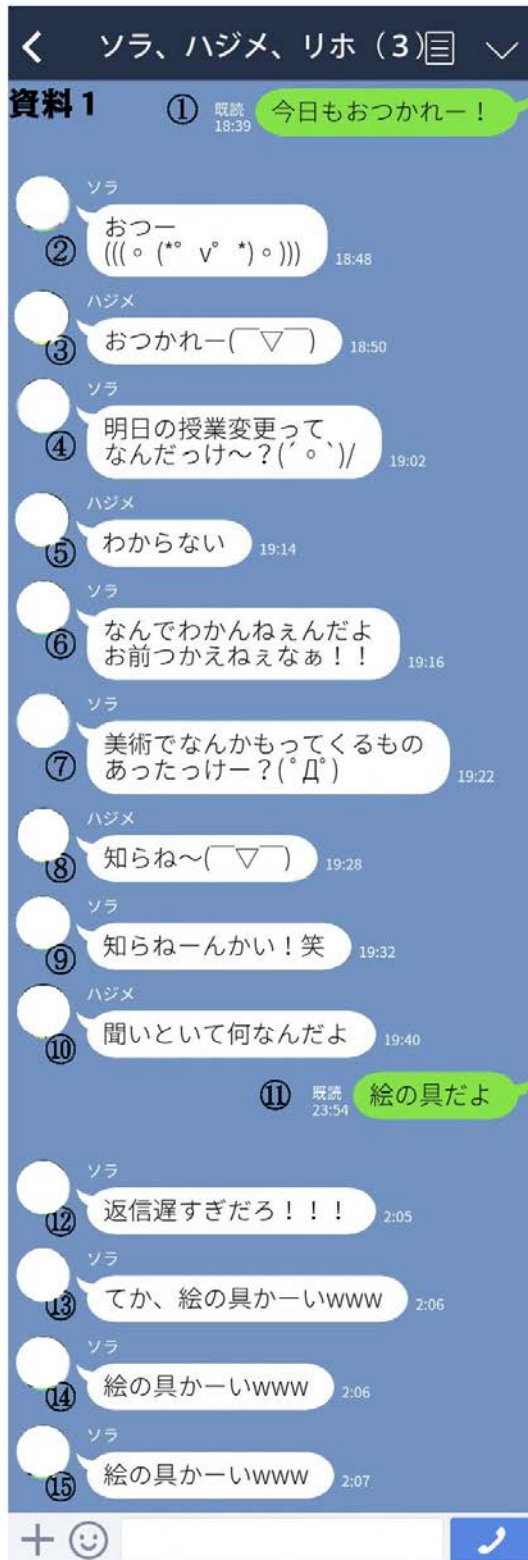
◇全グループの模造紙を見終わった後、生徒の印象に残っている意見を教師が紹介する。

◇意見を書けない生徒には、意見を書きやすくなるように声かけを行う。

展開	・「ウザい」「消えろ」など内容の薄い言葉ではなく自分の気持ちをきちんと伝えられるようにしたい。	◇幅広い意見を紹介する
終末	○授業を振り返り、相手とコミュニケーションをとるときに、どんなことが大切か考える。 ○教師の説話を聞く。	◇私たちの道徳を読み、適切な言動について考えさせる。 ◎礼儀や適切な言動について考えることができる。 (発言・ワークシート)

【板書計画】







資料2

名前 ()

◎あなたがクラスLINEのメンバーだったら、書き込みをしますか??

① (書き込む・書き込まない)

② (書き込む場合)
どんな内容のメッセージを投稿しますか??

③ (書き込む場合)
なぜ②のような内容のメッセージを投稿しましたか??
(書き込まない場合)
なぜ書き込みをしなかったのですか??

「いじめるつもりはなかったけど…」

◎インターネットを含め、人コミュニケーションをとる際、どのようなことを相手に配慮したらよいか。

3年 組 番 名前 _____

①

A large rounded rectangular box with a black border, containing seven horizontal lines for writing. The lines are evenly spaced and extend across most of the width of the box.